

第36回「インターナショナルオホーツクサイクリング2017」における北海道米PR結果

平成29年 7月8日
オホーツク総合振興局農務課

【北海道米PR概要】

- 1 日時：平成29年7月8日（土）11：30～13：30
- 2 場所：コムケ湖キャンプ場（紋別市）
北海道立オホーツク流水公園（紋別市）
- 3 対象者：オホーツクサイクリング2017出走者：437人
（フルコース、満喫コース、牧歌コースのみ）
オホーツクサイクリング2017実行委員会等：約200人
- 4 内容：コムケ湖キャンプ場では、オホーツクサイクリング（フルコース、満喫コース）の出場者等に北海道産「きたゆきもち」を使用した大福餅を1個配布し、北海道産もち米のPRを実施した。
また、出場者等に北海道産「ななつぼし」を使用した弁当を配付した他、スポーツの場面における北海道産もち米の消費拡大を図るため、アンケート調査を行った。
北海道立オホーツク流水公園では、オホーツクサイクリング牧歌コース閉会后、大福餅を1個配布した。

○オホーツクサイクリング2017 北海道もち米PR状況



配布した大福餅



出場者への北海道米PR

第36回「インターナショナルオホーツクサイクリング2017」 における北海道産もち米に関するアンケート結果

平成29年7月8日
オホーツク総合振興局農務課

1 日 時： 平成29年7月8日（土）11：30～13：00

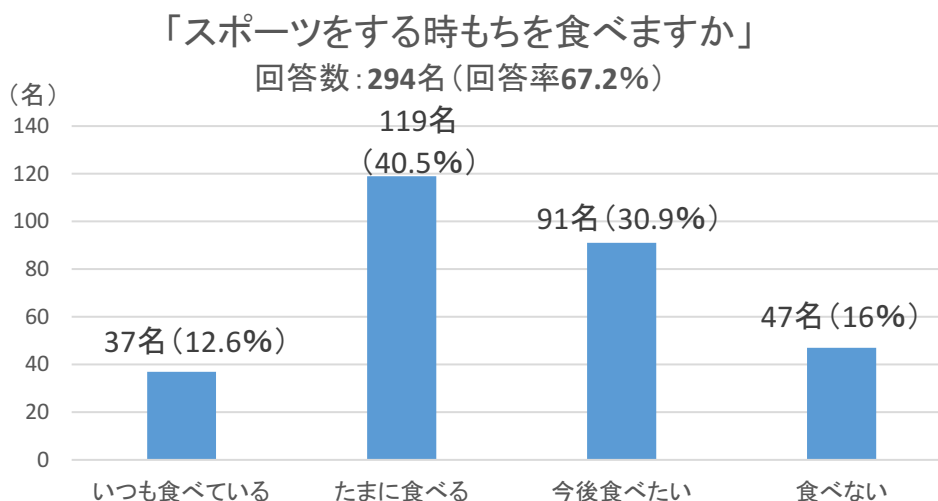
2 場 所： コムケ湖国際キャンプ場（紋別市）

3 対象者： オホーツクサイクリング2017出走者：437人
（フルコース398名、満喫コース39名）

4 内 容： サイクリング出場者に対し、「スポーツをする時もちを食べますか」という内容のアンケート用紙を配付し、「①いつも食べている、②たまに食べる、③今後食べたい、④食べない」の4択で投票形式で調査した。

アンケートを実施することで、スポーツを行う消費者に対し、もちがスポーツに適した食べ物であることをPRでき、北海道産もち米の新たなニーズ開拓への資料とする。

5 結 果：



アンケートの結果、「いつも食べている」「たまに食べる」と回答した出場者が53%であり、回答者の約半数がもちがスポーツに適した食べ物であることを知っていると思われる。

また、「今後食べたい」と回答した出場者が30%ほどおり、もちがスポーツに適した食べ物であることを初めて知ったという感想もあった。